

# 埼玉県飯能市における在宅生活を支える 多職種連携の取り組み

埼玉県飯能市 福祉子ども部介護福祉課  
主査（保健師） 星井 華子



# 埼玉県飯能市の概要

- 市制施行 昭和29年1月1日（埼玉県下9番目の市）
- 平成17年1月 名栗村と合併→新生「飯能市」としてスタート
- 平成17年4月1日 森林文化都市宣言

- 面積193.05km<sup>2</sup> 面積の7割が森林
- 人口 78,496人
- 高齢化率 32.24%

〔 65歳以上 16.5%  
75歳以上 15.74% 〕

- 要介護認定率 14.53%
- 地域包括支援センター 基幹型1か所  
地域型4か所

（令和4年4月1日現在）



# 埼玉県飯能市の概要

## ○市の主なイベント

- ・ 飯能新緑ツーデマーチ
- ・ 飯能まつり
- ・ 奥むさし駅伝競走大会

森林文化都市として

自然を満喫できる観光スポット



# 飯能市における多職種連携の取り組み

- 1 多職種連携座談会 飯能・日高地区ワールドカフェ  
について
- 2 飯能市自立支援型地域ケア会議について

基幹型地域包括支援センター（社会福祉協議会）に委託

# **1 多職種連携座談会 飯能・日高地区ワールドカフェ について**

# きっかけは「薬剤師会・福祉関係者合同勉強会」

どうやって薬剤師の役割を知ってもらおう？

市役所職員・介護職員に知ってもらおう！

合同勉強会はどうだろうか？？



平成24年から5回にわたり、薬剤師会と介護職・行政との  
合同勉強会を開催

# 薬剤師会・福祉関係者合同勉強会 1～3回

## ① 認知症を知ろう 2012.6.5

- ・ 日高市の介護の現状と今後の展望について 「日高市介護福祉課」
- ・ 薬剤師の在宅の訪問薬剤管理指導について (薬剤師)
- ・ **認知症治療の現状と薬物療法の使い分け** 「前田晃宏先生」 (前田クリニック)

## ② 認知症を知ろう 2012.9.25

- ・ 飯能市における地域包括ケアについて 「飯能市介護福祉課」
- ・ 薬剤師が行う在宅訪問患者さんの症例について (薬剤師)
- ・ **認知症の周辺症状について** 「前田晃宏先生」

## ③ 在宅医療における多職種協働 2012.11.27

- ・ 日高市の見守りネットワークの取り組みについて 「日高市介護福祉課」
- ・ 在宅医療における薬剤師の多職種協働の実例について (薬剤師)
- ・ **在宅医療における薬物療法の実践について (多職種協働に期待すること)**  
坂戸訪問診療所 「曾束竜 久先生」

# 薬剤師会・福祉関係者合同勉強会 4～5回

## ④認知症と精神疾患 2013.4.9

- ・飯能市の国民健康保険の現状 「飯能市国保担当者」
- ・第6次医療計画における地域連携在宅業務について (薬剤師)
- ・**精神疾患と認知症の鑑別について 「角田健一先生」 南飯能病院**

## ⑤在宅での終末医療について 2013.8.7

- ・日高市の国民健康保険の現状 「日高市保険年金課」
- ・薬剤師の地域連携在宅業務について (薬剤師)
- ・**地域における終末医療(緩和治療の取り組み) 「小室理先生」 (小室クリニック)**

### パネルディスカッション 「地域在宅医療に関わる現在の問題点」

- ・小室先生(医師) ・日高市介護福祉課・ 飯能市介護福祉課
- ・日高市東部地域包括支援センター ・訪問看護ステーション看護師
- ・薬剤師

どの回も200人近くの参加者があった

### 参加職種

医師・薬剤師・介護支援専門員・在宅介護事業所職員・施設職員・訪問看護師  
地域包括支援センター・行政等

# 合同研修会の開催を続けてみたが

- ・ 一方的になってしまいがち
- ・ 多くの方の意見を聞くことが難しい
- ・ 顔の見える関係を創ることが難しい
- ・ せっかく多くの方の参加者があるのにもったいない

などなど反省点多かった

**解決方法として「ワールドカフェ」という方法があると知った！**

# ワールドカフェとは

## ○ワールドカフェとは… 話し合いの手法

⇒ 学識経験者や上位者主導の会議や講義ではなく、互いの意見を尊重し合う中から創造的アイデアを生み出そうとするもの。

少人数のグループに分かれテーマに沿って話し合いをします。

多くの方  
と知り合  
える

短時間でグループのメンバーを変えながらグループを渡り歩く  
感じで行います。

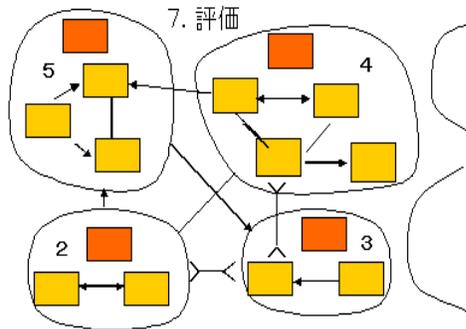
時にお茶やお菓子を食べながら楽しく会話を進めていきます。



# ワーク（KJ法）とワールドカフェの違い

KJ法

問題解決に結び付けていく方法



すべてのグループ(大グループ)について、どれが重要と思うか、各自最高点から1点の順で点数をつける(5番目以降は点数をつけなくてよい)。

1. 「批判をするな」：他人の意見を批判してはいけない。批判があると良いアイデアが出にくくなる。
2. 「自由奔放」：こんなことを言ったら笑われはしないか、などと考えず、思いついた考えをどんどん言う。「上品は」ジョーク歓迎。
3. 「質より量」：できるだけ多くのアイデアを出せ。
4. 「連想と結合」：他人の意見を聞いてそれに触発され、連想を働かせ、あるいは他人の意見に自分のアイデアを加えて新しい意見として述べるというのが一つやり方。

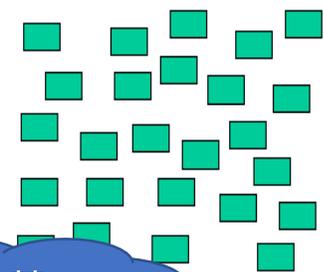
飯能版

ケア  
カフェ

ワークとケアカフェの間をとり多くアイデアが出るようにした

多くのアイデアを共有する

1. カードをあらかじめ広げる



カフェは人の入れ替わりもある

# ワールドカフェのルール

- 全員が必ず発言してください。
- 会話は短く、簡潔に。
- 相手の話しに耳を傾け、問いに集中してください。
- 他者の意見を批判しないでください。
- アイデアをつなぎ合わせてみてください。
- 前向きな意見を、とにかく楽しんで参加してください。

# ワールドカフェのメリット

- 一度に多くの方の意見を聞くことができる
- 多くの方と顔の見える関係を築くことができる
- 職種を超え理解することができる
- 他を否定することなく話ができるので楽しく話し合いができる

# 団体の立ち上げ

- 団体名** 多職種連携座談会 飯能・日高地区ワールドカフェ
- 事務局** 飯能市基幹型地域包括支援センター
- 役員** 市民、関係団体など
- 収入** 飯能市・日高市からの補助金、関係団体からの会費

## ○活動目的

- ①顔の見える関係を構築する。
- ②同じ地域で在宅医療に携わる多職種が気軽に意見や情報を交わす場を提供する。
- ③地域・医療・福祉が連携することで「住みやすい飯能・日高」「安心して暮らせる飯能・日高」を構築する。

# 役員構成

## ○市民

## ○医療

飯能地区医師会、飯能地区歯科医師会、飯能地区薬剤師会  
飯能市柔道整復師会、日高市柔道整復師会、

## ○介護

飯能市介護サービス事業者協会、飯能市介護支援専門員協議会

## ○相談機関等

飯能市地域包括支援センター、日高市地域包括支援センター  
飯能市社会福祉協議会、日高市社会福祉協議会、司法書士  
障害者相談支援センター、障害者福祉サービス事業所、

## ○行政

埼玉県狭山保健所、飯能市、日高市

# これまでの活動内容

- ①ワールドカフェ形式による多職種での情報交換や  
症例検討
- ②認知症相談窓口の普及
- ③市民フォーラムの企画開催
- ④医療と介護の連携ハンドブック作成 等

# ワールドカフェの開催

年	月日	回数・テーマ	人数
平成26年	1月15日	①飯能地区における「地域包括ケアシステム」の構築	40
	5月21日	②「多職種連携をするには何が大切か」	81
	10月29日	③「在宅で療養された症例報告」 ～職能として出来ること、継続していくために何が出来るか？～	114
平成27年	2月18日	④「多職種による合同勉強会・情報交換会」	73
平成28年	3月2日	⑤「在宅で療養された症例報告」～症例から見える課題と対応方法の検討～	137
	9月9日	⑥「認知症相談窓口」の活用方法	58
平成29年	2月27日	⑦「在宅で療養された症例報告」～症例から見える課題と対応方法の検討～	110
平成30年	2月9日	⑧「緩和ケアノートとわたしの手帳について」	111
	7月27日	⑨「成年後見制度の活用を考えよう」	83
平成31年	2月15日	⑩「在宅療養における介護者支援について」	122
令和元年	7月26日	⑪「多職種を知ろう～仕事を繋げる関係作り その1～」 職種発表（医師、通所介護、地域包括支援センター）	148
	11月1日	⑫「多職種を知ろう～仕事を繋げる関係作り その2～」 職種発表（歯科医師・歯科衛生士、訪問看護、障害者相談支援センター）	117

(人)

職種・所属	第11回	第12回
医師	10	8
歯科医師	6	2
薬剤師	18	16
柔道整復師	5	1
鍼灸師	2	1
医療施設	8	7
介護施設	15	14
訪問看護・訪問介護	12	15
介護支援専門員	12	11
市民	3	2
司法書士	1	1
障害者福祉サービス事業所	15	7
障害者相談支援センター	4	7
社会福祉協議会	7	4
地域包括支援センター	23	14
保健所	1	2
市役所	6	5

## 参加者の職種

余りに参加希望者が多く1機関当たりの参加人数について制限をお願いした

(人)



# 第13回ワールドカフェの開催

コロナ禍オンラインで！

- 日時 令和4年3月4日（金）19時～20時30分
- 方法 オンライン
- テーマ 「多職種でできる、災害時の備えについて」  
～令和元年の台風19号を経験して多職種でできることを考えよう～
- 参加者 59人

Zoomってどうやって使うの？  
役員会等で練習を重ねて開催

災害発生時3日後、避難所で過ごしている方々に対する支援、  
及び被害地域に対する支援を考える

# これまでの活動内容

- ① ワールドカフェ形式による多職種での情報交換や  
症例検討
- ② 認知症相談窓口の普及**
- ③ 市民フォーラムの企画開催
- ④ 医療と介護の連携ハンドブック作成 等

# 認知症相談窓口の設置

## ○経緯

ワールドカフェの話し合いから

「飯能地区における地域包括ケアシステムの構築はどうしたらよいか」

「多職種連携には何が大切か」

⇒認知症の方に早く気づき、早く関係各所につなげることが大切

## ○設置資格

- ・役員会で開催した認知症サポーター養成講座を受講
- ・相談窓口の設置の申し込みを行う

飯能市日高市に51か所の施設に窓口が設置された

「認知症」を正しく理解し、認知症になっても互いに暖かく見守れるまちを目指しましょう!

平成29年  
8月25日(金)  
午後7時00分～  
8時30分  
場所 飯能市総合福祉センター  
3階大会議室

認知症サポーター  
養成講座

認知症のこと、対応のことを一緒に学びませんか?  
現在、飯能市・日高市内29か所の医療・介護の事業所が、認知症について気軽に相談できる場所(認知症相談窓口)として登録していただいています。

終了時には、テキストと認知症の人への支援の要領を表す「オレンジリング」と多職種連携協議会 飯能・日高地区ワールドカフェ「オリジナルステッカー」を配布します。

問合せ・申込み  
多職種連携協議会飯能・日高地区ワールドカフェ事務局  
(飯能市基幹型地域包括ケアセンター内)  
電話 042-983-8700 (月～金9:00～17:00)  
FAX 042-973-8875

主催: 多職種連携協議会 飯能・日高地区ワールドカフェ  
協力: 飯能市、日高市



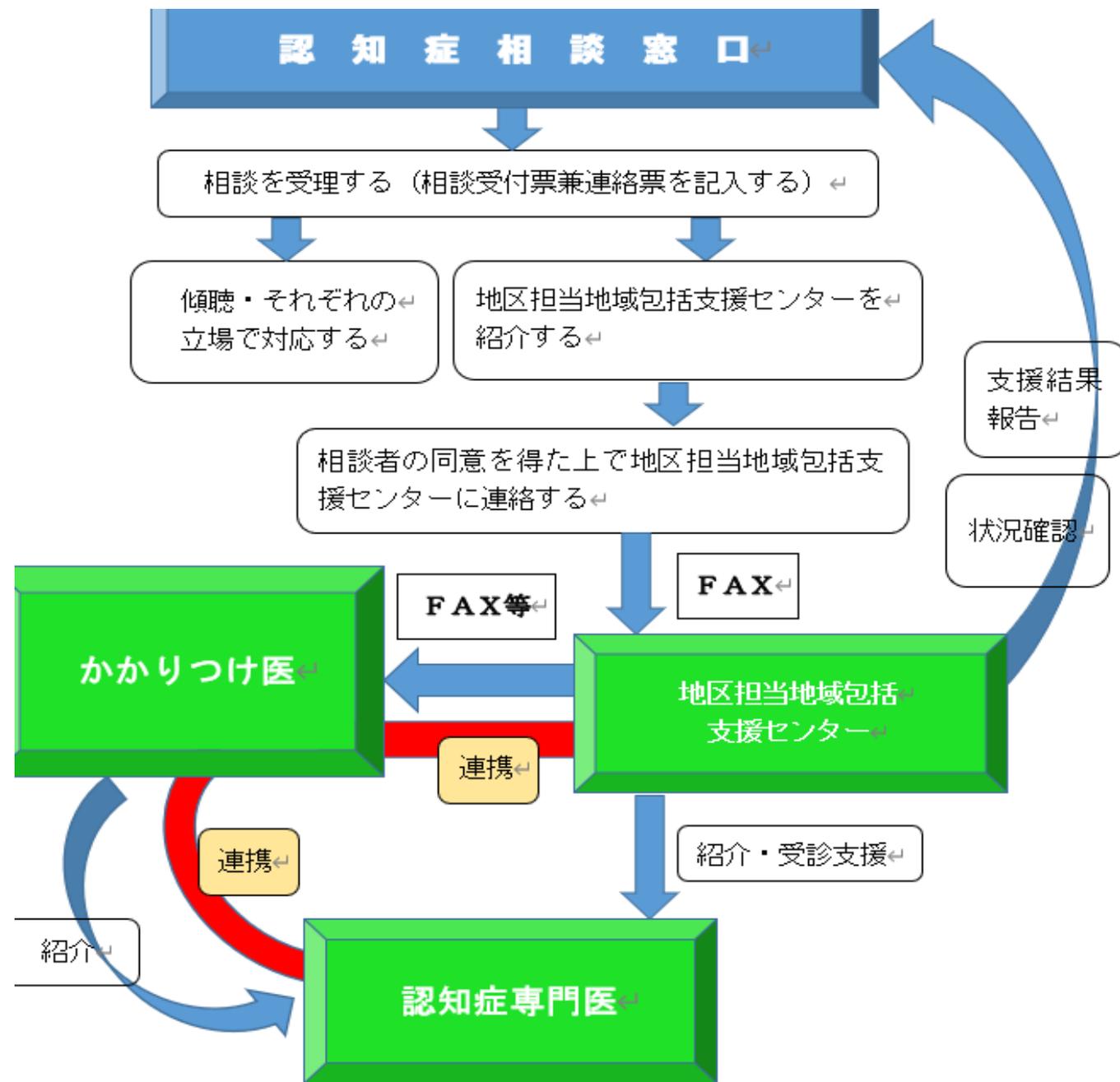


「薬が入っていなかった」悪い対応編



「薬が入っていなかった」良い対応編









飯能新緑ツーデーマーチにて認知症相談窓口の広報周知活動

# これまでの活動内容

- ① ワールドカフェ形式による多職種での情報交換や症例検討
- ② 認知症相談窓口の普及
- ③ 市民フォーラムの企画開催**
- ④ 医療と介護の連携ハンドブック作成 等

# 市民フォーラムの企画開催

## ○目的

- ①認知症にやさしい地域づくり
- ②終末医療を考え、最後まで自宅で暮らせる地域づくり  
を市民の皆さんに知っていただく活動！

## ○共通テーマ

「在宅医療」知っていますか？家で最期まで療養したい人に。

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 助成事業

# 飯能市・日高市 市民フォーラム

## 「在宅医療」知っていますか？

### 家で最期まで療養したい人に。

平成**27**年**10**月**31**日 (土)

**13:30～16:00**

会場：飯能市役所別館 2階

定員：200名 (先着順)



基調講演 『家族が認知症になったら』

～認知症の見つけ方と見分け方、そして在宅医療とは～

講師 古屋 大典 (埼玉医科大学国際医療センター・医師)

パネルディスカッション コーディネーター 小川 晃男 (小川医院・医師)

パネリスト 『口腔ケアと認知症』 大野 康 (大野デンタルクリニック・歯科医師)

『在宅で家族を見送って』 浅見 光男 (市民代表)

『在宅医療・介護の連携について』 阿部 昇吾 (飯能市社会福祉協議会)

申込・問合せ先：電話 **042-983-8700** FAX **042-973-8875**

E-Mail [kikan@hannosyakyo.or.jp](mailto:kikan@hannosyakyo.or.jp)

主催：多職種連携座談会 飯能・日高地区ワールドカフェ

共催：飯能地区医師会、飯能地区歯科医師会、飯能地区薬剤師会、飯能市柔道整復師会、日高市柔道整復師会、飯能市社会福祉協議会、日高市社会福祉協議会、飯能市介護サービス事業者協会、飯能市介護支援専門員協議会、飯能市地域包括支援センター、日高市地域包括支援センター、埼玉県狭山保健所、飯能市、日高市



# 飯能市・日高市 第2回 市民フォーラム

## 「在宅医療」知っていますか？ 家で最期まで療養したい人に。

平成28年12月24日（土）  
13:30～16:00

会場：日高市総合福祉センター高麗の郷  
定員：250名（先着順）

- 実践報告Ⅰ 『あなたはかかりつけ薬剤師をお持ちですか？』  
報告 池田 里江子（ふれあい薬局 薬剤師）
- 実践報告Ⅱ 『やさしい口腔ケア～歯科衛生士の関わりを通して～』  
報告 落合 美穂（入間郡市歯科医師会 訪問診療相談センター 歯科衛生士）
- 実践報告Ⅲ 『最期まで自宅で生きることを支えるために訪問看護師が出来ること』  
報告 飯島 若子（あさひヶ丘訪問看護ステーション 看護師）
- 特別講演 『1%の科学と99%の思いやり』  
～寄り添い、支える在宅医療～  
講師 齋木 実（丸木記念メディカルセンター 医師）



申込・問合せ先：電話 042-983-8700 FAX 042-973-8875  
E-Mail kikan@hannosyakyo.or.jp

主催：多職種連携座談会 飯能・日高地区ワールドカフェ  
共催：飯能地区医師会・飯能地区歯科医師会・飯能地区薬剤師会・飯能市柔道整復師会・日高市柔道整復師会  
飯能市社会福祉協議会・日高市社会福祉協議会・飯能市介護サービス事業者協会・飯能市介護支援専門員協議会  
飯能市地域包括支援センター・日高市地域包括支援センター・埼玉県狭山保健所・飯能市・日高市



同内容で  
第3回が  
29年12月に  
飯能市で開催

## 当日の様子



飯能市・日高市

# 第4回市民フォーラム

## 「在宅医療」知っていますか？

### 家で最期まで療養したい人に。

平成30年12月1日(土)

13:30~16:00 (受付13:00~)

飯能市民会館 小ホール

**定員:300名**(先着順)

参加者  
300人  
越え!

◎飯能ふるさと劇団員による公演『太郎さんの選択』

飯能ふるさと劇団

◎報告『在宅ALS患者の介護』

家族の立場から: 神澤 たか子氏

介護支援専門員の立場から: 湯川 宏子氏

(トータルケアシステム 蘭風園)

訪問看護師の立場から: 塩澤 幸代氏

(飯能市訪問看護ステーションほほえみ)

申込・問合せ先

電話 042-983-8700



「太郎さんの選択」(演劇)

「在宅ALS患者の介護」



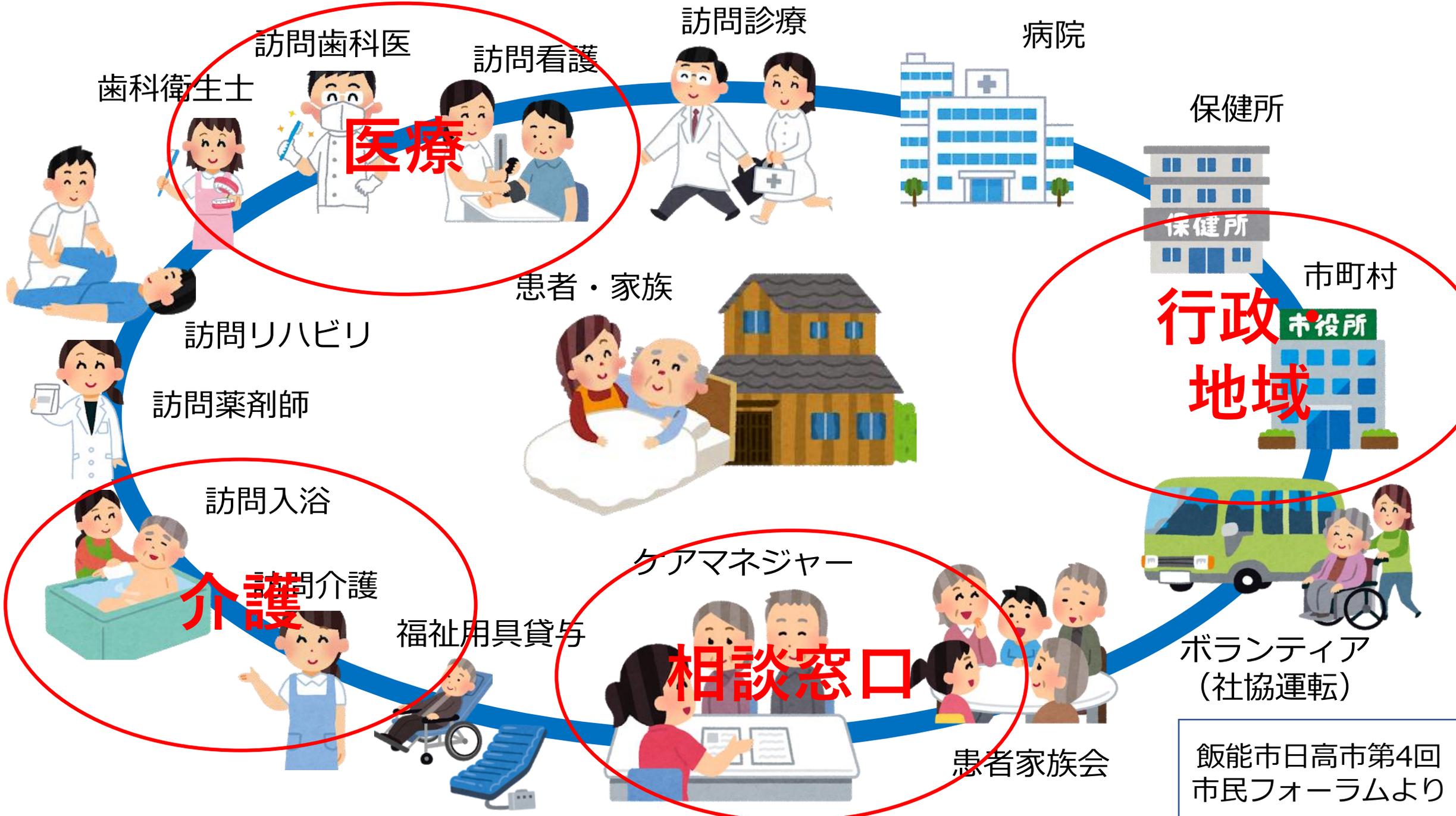
飯能市・日高市 第4回市民フォーラム  
「在宅医療」知っていますか？家で最期まで療養したい人に。〜



筋萎縮性側索硬化症 (ALS)  
(Amyotrophic Lateral Sclerosis)

手足、のど、舌の筋肉や呼吸に必要な筋肉がだんだんやせて力がなくなっていく病気のことで、筋肉そのものの病気ではなく、筋肉を動かす、かつ運動をつかさどる神経(運動ニューロン)が障害を受け、脳からの命令が伝わらなくなることにより筋肉がやせていきます。その一方で、身体の感覚や知能、視力や聴力、内臓機能などは、全て保たれることが普通です。





飯能市日高市第4回  
市民フォーラムより

# 令和2年12月飯能テレビを利用して

市民フォーラムに参加して  
在宅療養を選択  
した家族



## 「家で療養した家族の物語」

第6回 『がんと告知された患者、  
家族を支えるには』  
対談：大西秀樹 先生

12月21日(月)から27日(日)まで放送  
平日は午後8時より 土曜・日曜は午後9時より

# これまでの活動内容

- ① ワールドカフェ形式による多職種での情報交換や症例検討
- ② 認知症相談窓口の普及
- ③ 市民フォーラムの企画開催
- ④ **医療と介護の連携ハンドブック作成** 等

# 医療と介護の 連携ハンドブック



多職種連携座談会 飯能・日高地区ワールドカフェ版

在宅訪問について	<input checked="" type="checkbox"/> 有	担当者: 高林	範囲: 飯能~正丸地区				
麻薬取り扱いについて	<input checked="" type="checkbox"/> 有						
無菌調剤について	<input type="checkbox"/> 無						
その他のサービス							
ふれあい薬局 飯能店							
〒357-0037 飯能市稲荷町3-17		管理薬剤師 友成康二					
TEL	042-972-1323	FAX	042-972-1324				
MAIL	fureaihannou@yahoo.co.jp						
営業時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~18:00	○	○	○	○	○		
9:00~16:00						○	
休業日	祝祭日、年末年始(12/30~1/3)						
在宅訪問について	<input checked="" type="checkbox"/> 有	担当者: 友成	範囲: 16km圏内を目安				
麻薬取り扱いについて	<input checked="" type="checkbox"/> 有						
無菌調剤について	<input checked="" type="checkbox"/> 有						
その他のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理栄養士による栄養指導</li> <li>レガシーポンプの貸与</li> </ul>						
マサカヤ薬局							
〒357-0034 飯能市東町5-2		管理薬剤師 田辺哲生					



飯能地区医師会・飯能地区歯科医師会・飯能地区薬剤師会  
 飯能市柔道整復師会・日高市柔道整復師会  
 飯能市社会福祉協議会・日高市社会福祉協議会  
 飯能市介護サービス事業者協会・飯能市介護支援専門員協議会  
 飯能市地域包括支援センター・日高市地域包括支援センター  
 埼玉県狭山保健所  
 飯能市・日高市

## **2 飯能市自立支援型地域ケア会議について**

# 飯能市地域ケア会議

種類	自立支援型地域ケア会議	地域課題型地域ケア会議
実施主体	基幹型地域包括支援センター	地域型地域包括支援センター
頻度	月1回	随時
具体的内容	自立支援に向けたケアプランの検討 地域課題の把握	個別支援をとおして地域の高齢者の生活の質向上のための課題と対策を検討 地域課題の集約
参加者	<ul style="list-style-type: none"><li>・事例提出者（介護支援専門員）</li><li>・サービス事業者（介護サービス事業者、居宅療養管理指導[薬剤師]等）</li><li>・<b>助言者</b></li><li>・地域包括支援センター</li><li>・社会福祉協議会</li><li>・市役所</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本人、家族</li><li>・民生委員、地域組織</li><li>・社会福祉協議会</li><li>・警察</li><li>・地域の医療機関</li><li>・地域包括支援センター など</li></ul> 事例によって異なる

# 自立支援型地域ケア会議

顔の見える関係が  
役に立っている

## ○助言者

- ・ 管理栄養士
- ・ 歯科衛生士
- ・ 理学療法士
- ・ 作業療法士
- ・ 薬剤師



会議の在り方も工夫あり

# 工夫その1 モニタリング報告

- ・ ケア会議開催  
結果内容をまとめて  
ケアマネとサービス事業者へ



- ・ 半年後モニタリング  
現在どうなったか報告  
再検討



**ケア会議の充実**

自立支援型地域ケア会議 評価シート

地域ケア会議 〇〇年4月 実施

対象者: 川寺 美咲 居宅介護支援事業 所名: 茜の森 担当介護支援専門 員: 飯能 住子

	地域ケア会議前 ( 3月 □ 日 )	現在 ( 9月△ 日 )
要介護度	要支援2	要支援2
本人	平成〇〇年2月、脳梗塞の後遺症で右半身筋力低下と右手のしびれが続いている。変形性膝関節症もあり歩行が不安定。室内は伝い歩きで屋外はシルバーカー使用。デイサービス以外で他者との交流はなく地域活動にも参加しない。体力が落ちてきていることと便秘がなかなか解消しないことに悩んでいる。	自宅で体操をしたりデイサービスで筋トレをするようになってから膝痛が軽減しており、調子がいい日はシルバーカーで近所のスーパーまで買い物に行けるようになった。地域の活動にはまだ参加できていない。便秘については医師から処方された便秘薬が合わず、食事やマッサージで改善を図っている。
家族	近所に住む娘が週2回は訪問し、買い物支援や受診同行をしている。脳梗塞発症後から閉じこもり傾向にあることが心配。以前のように活動的でいつまでも元気でいて欲しい。	娘の義理父が入院したことで、介護が必要になり、月1回程度しか訪問できなくなった。本人の意欲が出て、自力で買い物に行けるようになったことで少し安心した。
介護サービス事業所	デイサービス◎◎を週2回利用。座位でのストレッチ、体操、エアロバイクなど有酸素運動を中心に行っている。レクリエーションや外出行事にも積極的に参加している。	デイサービスの利用は変わらず週2回。以前から行っていた運動に加えて、レッグエクステンションやコンパウンドロウなどのマシントレーニングも行い、下肢筋力向上を意識した運動を行っている。
インフォーマルサービス	以前はサロンやランドゴルフに行っていたが、今は行っていない。近所に住む旧友と旅行に出かけていたがここ2～3年は行きたいが行ってない。	自治会館でのサロンやむーまワクワク体操を勧めているが参加には至っていない。近所に住む友人が自宅に来てくれるようになった。
介護支援専門員	脳梗塞発症を境に意欲が低下しているが、自立した生活を送りたいという気持ちは強いため、本人の意欲を引き出しながら支援していく。	地域ケア会議での助言から、本人の「友人と温泉旅行に行きたい」という目標に向けて、サービス事業所とともにプランを見直し、意欲を引き出せるよう支援していく。
地域ケア会議で提案された助言を踏まえてサービス担当者会議で検討した内容、変化した内容や支援の結果	担当者会議で検討した内容…①自宅やデイサービスでの運動内容の見直し ②便秘解消のための食事内容の見直し ③自治会でのサロンや集いの場への参加	①自宅ではテレビ体操と散歩を毎日行い、デイサービスでは下肢筋力強化を意識したマシントレーニングを行う。体力測定結果を示すことで本人のモチベーションに繋げる。 ②夕食で野菜を多く摂ることを心がける。乳製品はヨーグルトを試してみる。主食の量を測ってみる。水分は1日に湯呑5杯分は飲むようにする。 変化した内容…自宅での運動やデイサービスでの運動は「足腰を強くする」ことを意識するようになり、結果膝痛が以前より軽くなり、1人で買い物に行けるようになった。便秘は乳製品や主食量、水分量を意識するようになり、いづらか便が柔らかくなった。
達成できなかった課題 また、その理由	自治会でのサロン活動には参加できていない。 本人が「周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」という不安が強いことが原因と思われる。少しずつ体力をつけて体力測定結果を示していくことで、本人の自信につながり、意欲を引き出すように支援していくことが必要と思われる。	

# 工夫その2 年に2回 検討会議の開催

## ○参加者

地域包括支援センター、助言者、市役所

## ○検討内容

事例の振り返りや会議の進め方について検討  
地域課題の把握



**新たな社会資源の開発**

# 検討会議の意見から

## ○地域包括支援センター

「助言者からのアドバイスを事例提出者以外のケアマネジャーへも伝えていきたい。」

## ○助言者

「ケア会議での助言がどうだったかをケアマネから聞く意見交換の場があるとよい。」



**研修会の開催**

# 介護支援専門員協議会との合同研修会

- 日時 令和4年1月20日（木） 13時30分～16時30分
- 方法 オンライン
- テーマ 高齢者の自立支援に向けたケアマネジメントについて  
～自立支援型地域ケア会議の助言者から学ぶ～
- 講師 管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士  
薬剤師

事前に介護支援専門員と地域包括支援センターから、助言者に聞きたいことをアンケートした。

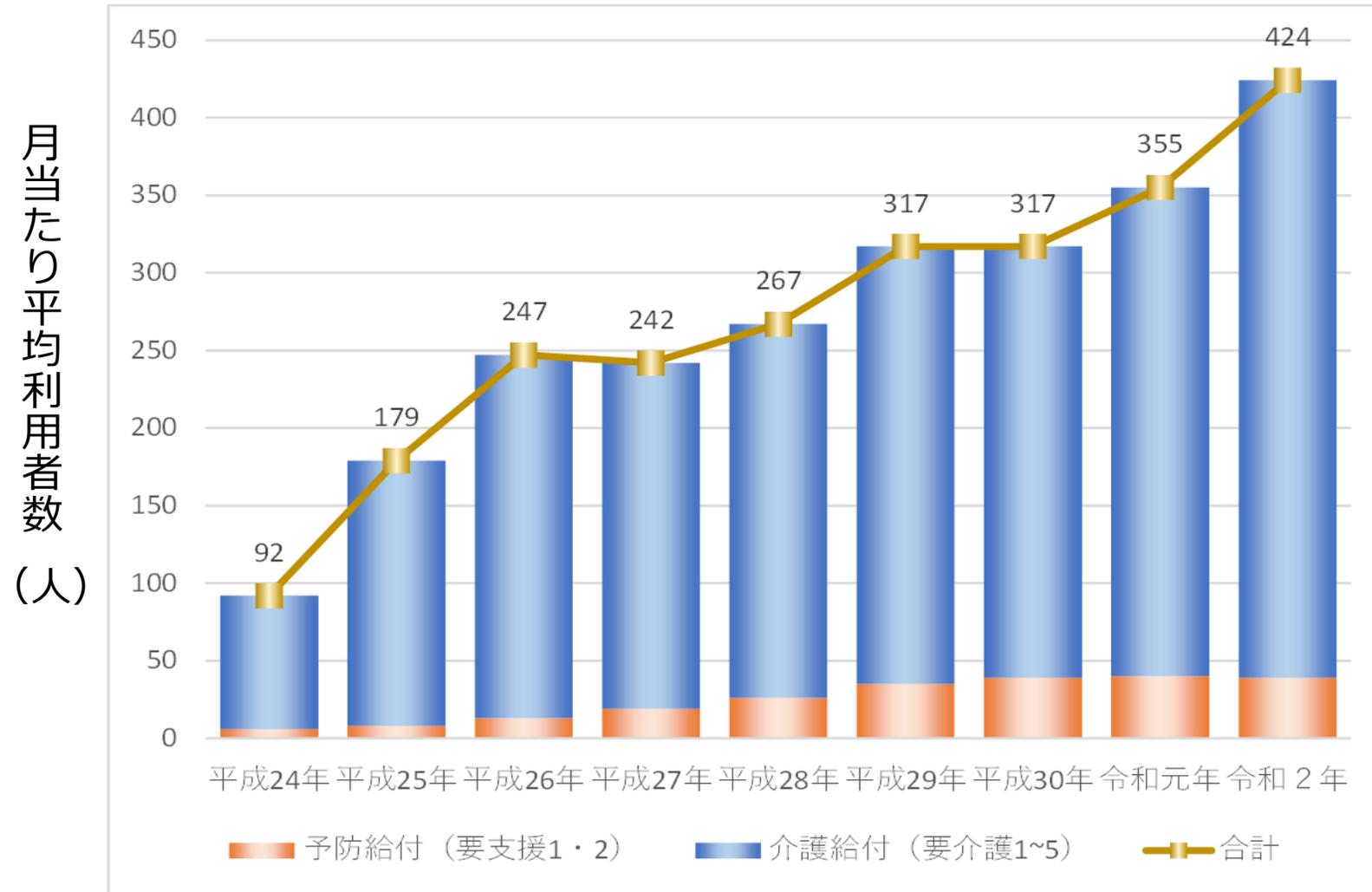
## 「薬は飲めている！」

- ①誰がどうやって確認しているのか？  
→朝は何錠？どこの薬が何錠？何のために飲んでいる？  
→コンプライアンスの維持は治療の意味を理解することが大切
- ②食事は何回、何を食べているのか？
- ③残薬は見せてもらえるのか？どうやって管理しているのか？



病状は安定しているのか？  
体調に薬が影響していないか？

# 居宅療養管理指導



# 認知症



# 相談窓口

認知症のこと、  
あなたの身近な場所で、  
相談できます。



今日が何月何日  
なのか思い出せない。



よく知っている道で  
迷ったことがある。



みんな



飯能

日高

いくつになっても  
いつもの暮らし

ご清聴ありがとうございました

いくつになってもいつもの暮らし  
みんなで考えたスローガン